

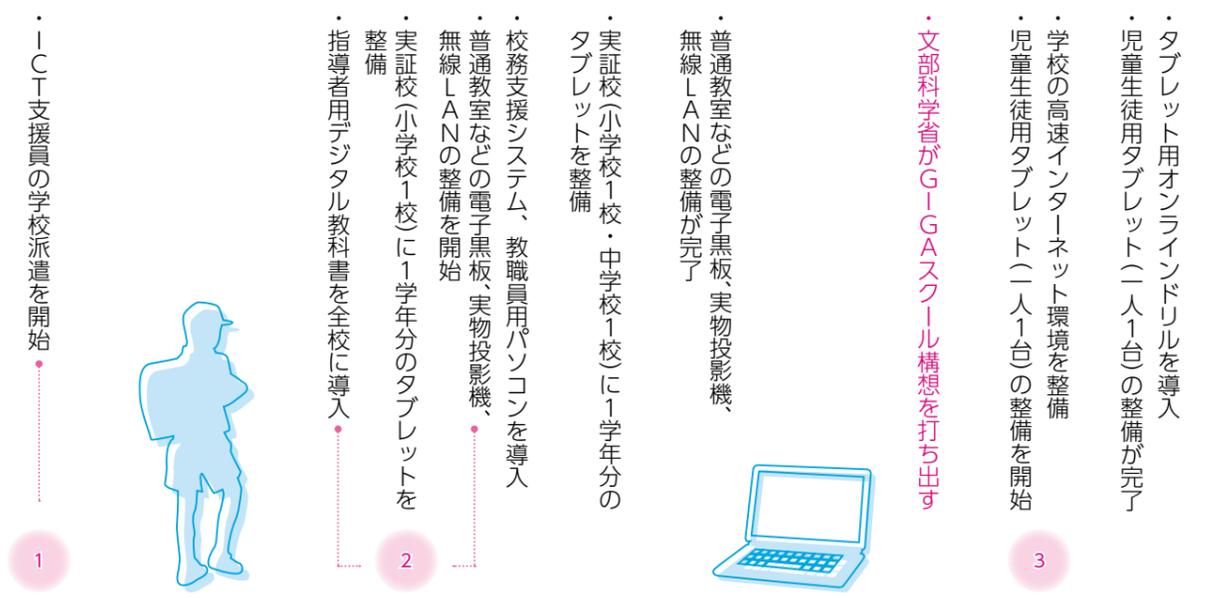


# 学びの現場を見てみよう

電子黒板やタブレットは、子どもたちにとって目新しい学びの道具。児童生徒は日々楽しみながら、ICT機器を使って学習に取り組んでいます。

## 本市のICT教育のあゆみ

平成 23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度 29年度 30年度 令和 元年度 2年度 3年度



**子どもにとって魅力的な道具**  
 タブレットは、子どもたちにとって魅力的なアイテム。例えば漢字練習では、画面の文字をなぞると音や花丸のマークが出て、書くのが苦手

**ICTは授業風景の一部**  
 担任している2年生の学級では、すべての授業で電子黒板を活用しています。通常の黒板と併用するので「資料や映像を見せるとき、実演するときは電子黒板」「ノートに書いてほしいことは通常の黒板」と使い分けを意識しています。タブレットは導入されたばかりで、今は操作に慣れさせたり、さまざまな使い方を試したりする段階です。分かりやすい説明を心掛けているとはいえ、子どもたちの覚えの早さにはいつも驚かされます。

**Interview**



市GIGAスクール構想推進委員  
 東原小学校  
 かなざわ たかこ  
**金澤 貴子** 先生

**豊かな学びを目指し試行錯誤**  
 私はもともと「教育の情報化」やICTに詳しいわけではなく、自分で機器を操作してみたり、他校の先生の教え方を取り入れたりして授業を工夫してきました。今後もさまざまな方法を試しながら、学習のねらいに合った効果的な教え方を考えていきたいです。そして子どもたちには、ICTを上手に活用し、考えを表現したり、人と交流したりできるようになってほしいと思います。

**1 ICT支援員**  
 市では4人の支援員を配置。各学校を訪問し、ICTを活用した授業の支援や機器のトラブル対応などを行う。学校でICT関係の困りごとが起こったとき、教職員にとって最も身近な相談役となる。



**2 電子黒板・デジタル教科書**  
 教科書の内容に動画や音声などを加えた「デジタル教科書」を電子黒板の大画面に映し出し、図を動かしたり、文字を書き込んだりできる。ホワイトボードのような機能もあり、意見集約や共同作業に役立つ。



**3 児童生徒用タブレット**  
 GIGAスクール構想向けの軽量で小さい端末。取り外し可能なカバー兼キーボードを装備し、安全のためにインターネットの閲覧を一部制限している。学習教材や文書作成、表計算など幅広い機能を搭載。



**番外編 エールなすしおばら家学プロジェクト**  
 令和2年春、コロナ禍で市内小中義務教育学校が休校に。市では家庭学習支援として、ホームページで学習動画を公開。「動画を見たので、学校再開後も授業が分かりやすかった」との声が多く寄せられた。

